

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所名 かぶと虫Mark

保護者等数（児童数） 16名 回収数 10 割合 62.5 %

かぶと虫Mark

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	1	1		国の設置基準より、指導訓練室は児童発達支援事業においては、児童一人当たり3㎡以上となっています。当事業所の指導訓練室は、30㎡以上確保しており、定員10名でも基準を満たしています。運動療育等は、スペースを考慮した上での療育を行っています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		2		国の人員配置基準（営業時間中に常に児童指導員2名）は満たした上で、児童指導員等（保育士）も加配しています。直接支援スタッフは、常時4～6名配置している。月に一回程度、言語療法士による観察、職員へのスーパーバイズなどを行っています。
	③ 事業所の設備等は、安全性への配慮が適切になされているか	7	1		2		設備等については、常日頃からチェックを行っています。ヒヤリ・ハット等を参考にしながら、今後も安全性への視点を常に持っていきたいと思います。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*1（個別支援計画）が作成されているか	7	2		1		ニーズや課題については、個別面談を行う中でお互いに共有をしております。面談を参考に、個別支援計画を作成しております。
	⑤ 児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われているか	7			3		個別支援計画においては職員全員で共有をし、定期的に振り返りながら支援を行っております。
	⑥ 活動プログラム*2 が利用者を飽きさせない工夫がされているか	7	1		2		療育教材等を手作りしながら、日々の活動プログラムに活かしております。
保護者等への説明等	⑦ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2				契約時や、その都度面談等でご説明をさせて頂いております。
	⑧ 児童発達支援計画（個別支援計画）について、支援内容の説明がなされたか	9	1				面談等で保護者の方へご説明をさせて頂いております。
	⑨ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング*3や学習会等）が行われているか	3	3	1	3	紙面での情報はある尾はともありがたいのですが、状況が落ち着き次第、勉強会もしてほしい。	月に1度「かぶと虫日記」といった、会報を配布させて頂いている。また、来年度以降では、保護者様等を対象とした勉強会の開催を予定している。
	⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	2	1	1	直接ではなく紙面での情報しかないのでは何をやったか、子どもがどうだったか、いまいち分からない時がある。	保護者様が別室にて療育の様子が見られるように、モニターを設置した。また、個別相談室も設置したため、個人面談を随時行っており、支援についてのさらなる連携が図れるよう努めている。
	⑪ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	5				月に一度「かぶと虫日記」を発行しています。また、今後は保護者の方々との密な連携を図ってきたいと思っております。
	⑫ 保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	2	2		今後、定期的な保護者会等の開催をし、保護者様同士の連携も深めていけるよう検討しております。
	⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		5		苦情があった際には、対応できるように体制は整えております。
	⑭ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	3	1	1		お気軽に連絡をしていただけるように、LINEで連絡を取り合えるようにしております。
	⑮ 定期的に会報やホームページ、SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		4		SNSでは日々の活動の様子等について、定期的に発信しております。
	⑯ 個人情報に十分注意しているか	7	1		2		SNS等への写真掲載については事前に保護者様に同意を得てから掲載をするようにしております。また、写真については加工をするよう配慮しております。
非常時等	⑰ 非常災害時の対応について、保護者に周知・説明されているか	6	1	1	2		対応についてのマニュアルはあるが、周知等はしていない為、今後必要に応じて周知等の検討をしてい期待したいと思います。

その対応	⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	1	3		年2回の避難訓練を放課後等デイサービスと合同にて行っています。今後、児童発達支援のみでの開催も検討していきたいと思っています。
満足度	⑲	子どもは通所を楽しみにしているか	8			2		
	⑳	事業所の支援に満足しているか	7	3				
その他	自由記載欄(事業所への意見や評価など、自由にご記載ください) ・日頃からありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。 ・定期的に面談や見学等あれば良いと思います。月に1度、10分、20分でも時間が取ればとてもありがたいなと思っています。動画があれば見るだけでも良いです。 ・いつも個別に配慮して頂きありがとうございます。仕事をしながらでも安心して療育に通うことが出来てとても感謝しています。(他のところは、付き添いが必要になってくるため)カメラで様子を見られるようになるのも安心です。							
総評	児童発達支援が単独でオープンという事で、新型コロナウイルス感染予防の為に換気扇の設置、個別相談室の設置、モニターの見れる保護者待機室の設置、個室訓練室の設置を行わせていただきました。ご意見を頂きました日頃からの保護者様との連携という点においても、各プログラム終了後に保護者様へのフィードバック・相談等を行い、日頃からの連携に努めていきたいと思っています。							

*1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*3 「ペアレントトレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得する事を目標とします。